



文責 本宮小校長 佐久間仁

## 長 なわコンテスト

朝のひんやりとした空気の中、体育館で長なわを回す六年生のかげ声が響いています。休み時間や放課後、中庭に集まって、跳ぶこともしばしばでした。

五年生の時から始まり、二年間にわたる息の長い取組でした。時には、思うように記録が伸びず、プレッシャーにくじけそうになることもあったと思います。しかし、子どもたちは本当に粘り強く最後まであきらめずに跳び続けました。結果は、二組が四百二十一回(県二位)、一組が四百十五回(県三位)でした。目標としていた県一位にはわずかに届きませんでした。が、実に立派な記録だと思えます。「結果」以上に、目標に向かって力を合わせて努力を重ねてきた「過程」が素晴らしいと思います。

練習中、縄に足がひっかかり、転んだ友達を気遣って駆け寄る姿、跳べない子も一緒にかけ声をかける姿・・・子どもたちの心には、たくましさや優しさが育ってきているのを感じました。もうこれで終わりののが惜しいくらいです。子どもたちも「もっと跳びたい」という気持ちだと思えます。

そんな六年生の姿を見て、五年生、四年生も後に続けと長なわを跳ぶ姿を最近よく見かけるようになりました。長なわの「心」が、着実に後輩たちに受け継がれているのを感じています。六年生が残してくれた新しい本小の伝統を、今度は下級生が引き継いでいってほしいと願っています。

※六年生のみなさん、本当にご苦労様でした。支えてくださったご家族、そして地域の皆様、温かい応援をありがとうございます。



努力の天才、6年生

## 家 の仕事頑張るぞ



一年生が生活科で家の仕事に挑戦しました。自分でできる仕事を考えて、一週間実行してみました。

仕事の中は、部屋の掃除やゴミ捨て、食事の用意(お皿運び)、洗濯物たたみなど、様々です。中には皿洗いや風呂洗いに挑戦する子もいて、頼もしい限りです。一週間の振り返り、反省をし、ご家族からコメントをいただきました。

その一部をご紹介します。「進んでお手伝いをしてくれてありがとうね。お部屋がきれいになったよ。」(父より)

「決めた仕事ができない日は、別の仕事をさがしてできたので、よかったと思います。」(母より)

「毎日決めた仕事をしてくれたので、とても助かりました。決めた仕事以外の仕事も進んでやるよと言ってくれて、とてもうれしかったです。このまま続けてほしいと思います。」(母より)

「毎日、決められた仕事をしてくれて、とても助かりました。これからも続けてほしいです。」(父より)

※保護者の皆様の温かい励ましに感謝いたします。

## 入 賞おめでとう



〔第十五回本宮ふれあい書き初め大会〕

【準大賞】四年 菅野 詩

【金賞】五年 宗像 美彩

【銀賞】六年 本多 優護

〔第十六回税に関する絵はがきコンクール〕

【努力賞】六年 渡邊 紗有

六年 菅野 もも

六年 武田 空和

※おめでとうございます。後日、表彰式で伝達いたします。

## 【校地内への車両の乗り入れについて(再度のお願い)】

○校門付近が送迎の車で混雑しています。(特に雨や雪の日など)できるだけ徒歩での登校をお願いします。○やむを得ず送迎する際は、緊急の場合を除き、できるだけ東門(第一校庭・体育館東側)をご利用ください。事故防止のため、必ず駐車場で車を止めて児童を降ろしてください。○北門(西校舎前・安達太良神社側)前の路上で児童を降ろしたり、本宮北郵便局駐車場で児童を降ろしたりするのは、近隣の方の迷惑にもなりますので控えてください。ご理解、ご協力をよろしく願います。